

夢サラダ Vol.39

2007.10.1 発行

市民活動の拠点を目指しています。

「今治市民活動センター」

指定管理者: (特非) 今治NPOサポートセンター

【お問合せ】TEL/FAX 25-8234

今治市民活動センターイベント報告

7月23日、23名（10団体）が参加しました。

～「不調和の調和」による大きな発見と刺激！あなたの活動のヒントに～

第2回市民活動座談会 協働から生まれた新しい舞台に学ぶ

複数の組織が互いの特性をいかしながら、対等な立場で事業を行なっていく「協働」に、大きな関心が寄せられています。今回の座談会では、能楽グループ「橙黄会」とダンススタジオ「101」が、それぞれの個性を最大限に生かしながら共同創作を進めた舞台に、「協働」の魅力を学びました。

★きっかけは？

日本の伝統芸能に一度触れてみたいとの渡辺さんの思いからスタートしました。古典芸能だけに、大きく形を崩すことは難しいながら、限られた範囲の中で楽しみたいとの大亀さんの心意気により、比較的スムーズに実現しました。



左「橙黄会」大亀藤英さん
右「101」渡辺栄子さん

★成果は？

能を観る機会のなかった人、ダンスを観る機会のなかった人、それぞれにチャンスが生まれ、観る人の底辺を広げました。初めは「こわい」という言葉が出ていたダンススタジオの子ども達も、本番は舞台の袖で真剣な眼差しを向けていました。こだわりを持たず、様々なものを観て、体感する姿勢を学びました。



協働とは、複数の組織が互いの特性をいかしながら、対等な立場で事業を行なっていくことです。互いの長所をいかし取り組むことで、相乗効果が生まれ、地域課題の解決、新たなサービスの創出など、より大きな成果が期待できる手法です。

★難しかったことは？

基本から全くちがう表現活動に、渡辺さんは戸惑ったそうです。例えば、モダンダンスは素足で舞う。能は必ず足袋で舞う。最初は素足では上がることができない能の檜舞台に緊張を感じたそうです。そこで、まずご自身が「能」を習うことにしました。相手を知ることから始めたのです。



「後半は協働の意見が寄せられた」という言葉が聞かれた。

〈活動紹介〉

◆ダンススタジオ101

- ・23年程前（学生の頃に始めたモダンダンス）
- ・教室の運営
- ・発表会
- ・色々な人とコラボレーション
- ・児童館、保育所での親子体操
- ・知的障がい者施設での指導

◆橙黄会

- ・1982年発足。
- ・発表会（年に4回）
- ・芸能祭（今治市）
- ・能楽祭（愛媛県）
- ・高齢者施設の訪問
- ・お能を楽しみましょう（月に1回）
- ・子供教室（文化庁委嘱事業）

【協働の視点・魅力】

- ① 固定観念に捉われないで、相手を受け入れる事。
- ② 結果だけでなくプロセスが大事。
- ③ 反発や葛藤を繰り返す中でお互いが成長する。

第3回市民活動座談会



次回、座談会は11月頃に開催の予定です。是非ご参加ください。お待ちしております。

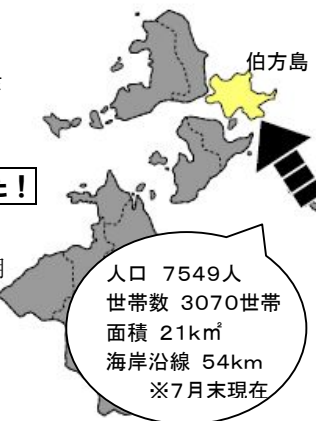


床の舞台に、檜舞台を配置し、持ち場を守りながらコラボレーションした舞台となった。

伯方島列伝

はかた生まれつでん

古くから製塩業が行われていて、現在も塩の島として知られている伯方島。この島を愛し、「民泊」「農家レストラン」「人形劇」というテーマで、地域の活性化に尽力されている女性たちにスポットを当てました。
※民泊とは…一般の農家へ宿泊(食事つき)すること。民宿や旅館とは違い、田舎の家に泊まり、農作業などを体験することで、そこでの暮らしや生活文化を身近に感じることができる。



グリーンツーリズムのノウハウを活かして伯方島ならではの民泊を提供！

野間さんは10年余前、イギリス・ドイツで民泊を体験、感銘を受けたことをきっかけに民泊に興味を持つようになりました。以来、大分県内で実施されている民泊を視察するなどして、伯方島版民泊のスタイルを模索中。6年ほど前からグリーンツーリズムの一環として郷土料理づくり(いぎす豆腐、タコ飯など)体験などを修学旅行生らに提供していて、そのノウハウを活かした民泊の実現に全力投球しています。実現にむけ、9月上旬に島外の方を対象にしたモニターが行なわれました。野間さんの温かいお人柄は、「島のおばあちゃん」として親しまれました。



野間征子さん

★民泊の魅力は？

人とのめぐりあい、家族的な交流がなんといっても一番の魅力。

★民泊実現にむけて苦勞することは？

元々人をもてなすことが大好きですし、身の丈に合ったことをしていくだけなので、苦になることはありません。

★今後の展開は？

消防法をクリアするために自宅を改装するなど課題はまだ残されていますが、サイクリストの皆さんやファミリーなどに伯方島の「癒し」を提供していければと思っています。



モニターツアーのもよう



伯方島のおいしい野菜・魚介類を召し上がれ！ 話題の農家レストラン

去年4月、道の駅・マリンオアシスはかた内にオープンした「農家レストラン」。地元の主婦の方々が運営していて、旬の野菜や水産物にこだわったオリジナルランチを提供しています。医食同源を心がけたメニューは体の中からキレイになれるそう。認知度も徐々に上がっています。スタッフの西部さんに話をうかがいました。



スタッフのみなさん

★スタッフの構成は？

調理スタッフが12名、野菜を提供してくださっている方が12名、みんなでガッチリとスクラムを組んでがんばっています。

★メニューづくりは？

旬の野菜がもつ栄養価を活かして毎月テーマを決めています。例えば、「夏バテ解消」「冷え性対策」「便秘防止」など、食と健康を意識しています。

★やりがいとは？

お客さまからいただく「美味しかったよ」の言葉にはげまされます。レシピについての質問も受けることがあり、伯方島の食を1つご提案できたかなと思うとうれしくなります。



西部知香さん

プロの舞台に大興奮！ 伯方島に人形劇＆マジックがやってきた！

今治市が実施している“市民が共にこすまちづくり事業”に採択された「第15回伯方人形劇フェスティバル」が、去る8月19日開催されました。主催した人形劇団・ほぴは、オリジナルストーリーを毎年1話つくり、県内外で公演を行っています。代表の山岡さんにお話をうかがいました。



伯方人形劇フェスティバルの様相

★成果は？

生の舞台に接する機会の少ない子どもたちに、国内で活躍中のプロのステージ、人形劇団「ののはな」、「マジックRintaro」を楽しんでもらいながら、表現することのすばらしさを伝えることができました。

★やはりプロは違いますか？

はい。セリフに頼りすぎることなく、人形の表情や動きで気持ちを伝えるテクニックに驚き、勉強になりました。

★今後の活動は？

ある小学校の開校式で公演したことなど、たくさんの感動をいただきました。これからも技術をみがき、メンバーの数と公演回数を増やしていきたいと思っています。



ほぴのみなさん



農家レストラン10月の営業日 10月27日(土)・28(日)

場 所: マリンオアシスはかた 2階

時 間: 11:30~14:00

メニュー: はまぼこ膳 1,000円

1日限定50食

お問合せ: マリンオアシスはかた

0897-72-3300

※農家レストランは、毎月第4土曜・日曜日のみの営業です。

↓ご参考までに、8月のメニューを紹介！



- ・夏の天ぷら(みょうが、カボチャ、トマト、ゴーヤと かえり、タコ、サザエ)
- ・かんぴょうのきんぴら
- ・砂肝の甘辛煮
- ・夏野菜のさっぱりサラダ
- ・豆腐ハンバーグ
- ・冷やし茶わん蒸し ・2食のおにぎり(うめ、じゃこ)
- 〈デザート〉
- ・豆乳プリンパフェ コffeeor紅茶



野間さん宅と西部さん宅の 民泊が体験できる！

無料モニターツアーのお知らせ

日にち: 11月23日(金・祝)・24(土)・25(日)
2泊3日

詳しくは、

- ・今治NPOサポートセンターにお問い合わせいただくか
- ・「しまなみ資源プロジェクト」のホームページをご覧ください。↓

<http://blog.canpan.info/shimanami/>



指定管理者の現場拝見！

特定非営利活動法人

今治しまなみスポーツクラブ

特定非営利活動法人今治しまなみスポーツクラブは、今年4月1日から、

市営中央体育館 **桜井スポーツランド** **市営球場**など、旧今治市内にある17体育施設の運営を行っています。

少子高齢化、健康増進に対する意識が年々高まる中、

老若男女が利用する体育施設が担う役割とは？

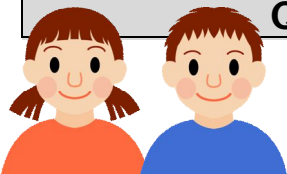
指定管理者だからできることとは？

理事長の井本雅之さんにお話をうかがいました。

Q. 運営にあたって、こころがけていることは何ですか？

市民＝利用者＝お客さまという意識、施設の運営はサービス業であることをいつも念頭において行動しています。前例主義やことなかれ主義を排除し、全ての判断軸は、お客さまに置きながら、良心・常識にもとづいて業務を進めています。コスト意識を持って働くことも大切なことです。水道光熱費はもちろんのこと、スタッフの時間管理においても、一人ひとりがムダのない動きで日々の業務にあたっています。コストは人間から発生しています。**【高いのも人件費】【安いのも人件費】**スキルやモチベーションで、その価値は違ってくるのです。

Q. モチベーションを上げるためには、どうすればいいのですか？



夢を語り、みんなで共有することが重要です。良質のサービスを提供して、市民の方々に喜んでいただく、それはとても幸せなことです。

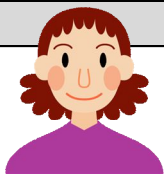
また、指定管理者としての目線を取り入れた体育施設の活用方法について、無限のチャンスをいただいているということも忘れてはなりません。「何のためにやっているのか」その大義を忘れないようにすることですね。**指定管理者としてのあるべき姿を追及し、市民の方々に喜んでもらう、そのプロセスによって自分たちの人間力も向上する、**ということです。

Q. 新しい取り組み、そして、今後の展開は？

「市民が楽しいスポーツ教室」をモットーに、対象年齢を広げたり、体育を専攻したスタッフによるプログラムの充実を図ったりしています。

今後は、スポーツライブラリーやトレーニングジム設備の充実も進めていきたいと思っています。

また、思いやりのある心を育むセミナーの開催も考えています。さらに、**財源の確保として、野球場のフェンスや中央体育館内の柱を、企業等の広告宣伝の媒体として活用していきたいと市に提案しています。**



市民へメッセージを！

心と体は1つです。各種体育施設を利用いただきながら健やかな身体づくりに取り組んでください。

地域貢献の一環として、次のような事業も予定しています。

【岡田武史のサッカークリニック】

日時:10月30日(火)・31日(水)

内容:今治地域の中学・高校のサッカー部から選抜された選手たちのサッカークリニックです。

※岡田武史氏…97年W杯フランス大会アジア最終予選途中に日本代表監督に就任。史上初のW杯本大会出場に導いた。現在、サッカー解説者



【指定管理者制度ってどんな制度？】

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、平成15年6月の地方自治法改正により創設されました。

この制度が導入されたことにより、これまで公共的な団体等に限定されていた公の施設の管理運営を民間事業者も含めた幅広い団体にも委ねることができるようになりました。

今治市では、平成16年4月から指定管理者制度を導入しています。